

令和元年9月2日
産業政策課
担当者 成田、宮尾
内線 4422、4424
外線 (076)225-1513

いしかわ次世代産業創造ファンド助成事業等採択決定通知書交付式の開催について

石川県、公益財団法人石川県産業創出支援機構では、県内の7つの金融機関と協力することで、平成22年7月にいしかわ次世代産業創造ファンドを創設し、県内企業の研究開発活動に対する様々な支援事業を実施しております。

このたび、次世代ファンドの採択企業が決定しましたので、以下のとおり、採択決定通知書交付式を開催いたします。

なお、対象案件の公表は、会場にて行います。

記

- 1 日時
令和元年9月4日（水）16：00～16：45
- 2 場所
石川県庁4階特別会議室
（石川県金沢市鞍月1丁目1番地）
- 3 内容（予定）
 - （1）採択決定通知書交付
 - （2）知事の激励の言葉
 - （3）採択企業代表の決意表明
 - （4）採択事業の概要説明

いしかわ次世代産業創造ファンド等助成事業

1. 次世代産業創造支援事業 (別紙一②)

- (1) 対象者 石川県内に事業所を有する企業と大学等又は複数企業からなる連携体
- (2) 対象事業 「炭素繊維」「ライフサイエンス」「エネルギー・低炭素化」「航空機」分野における新技術・新製品の研究開発及び実用化研究
- (3) 補助金額 2,000万円以内
- (4) 補助率 2/3
- (5) 補助対象期間 交付決定日から1年(12ヶ月)以内

2. 新技術・新製品研究開発支援事業 (別紙一③)

- (1) 対象者 ・石川県内に事業所を有する企業
・石川県内に事業所を有する企業と大学等又は複数企業からなる連携体
- (2) 対象事業 新技術・新製品の研究開発及び実用化研究
- (3) 補助金額 2,000万円以内
(単独企業の場合は1,000万円以内)
- (4) 補助率 2/3 (従業員が50人未満の場合は3/4)
- (5) 補助対象期間 交付決定日から3年(36ヶ月)以内

3. 事業化促進支援事業 (別紙一④)

- (1) 対象者 石川県内に事業所を有する企業と大学等又は複数企業からなる連携体
- (2) 対象事業 研究開発製品の事業化に向けた実証・評価
- (3) 補助金額 3,000万円以内
- (4) 補助率 2/3
- (5) 補助対象期間 交付決定日から2年度以内

4. 製造工程省力化等支援事業 (別紙一⑤)

- (1) 対象者 石川県内に製造拠点を有する中小企業者
- (2) 対象事業 製造工程の省力化のための設備等の導入
- (3) 補助金額 600万円以内
- (4) 補助率 1/2
- (5) 補助対象期間 交付決定日から1年(12ヶ月)以内

5. AI・IoTを活用した業務効率化・省力化支援事業

- (1) 対象者 石川県内に主たる事業所を有する中小企業者等
- (2) 対象事業 業務効率化・省力化のためのAI・IoTシステム等の導入
- (3) 補助金額 100万円以内
- (4) 補助率 1/2
- (5) 補助対象期間 交付決定日から令和2年3月31日(火)まで

いしかわ次世代産業創造ファンドによる支援

別紙

次世代ファンドとは

- ・次世代産業の創出・育成を推進するため、地域独自のファンドでは全国最大規模となる「いしかわ次世代産業創造ファンド」を平成22年に創設。
- ・県内企業の研究開発等の支援を行っており、なかでも炭素繊維、ライフサイエンス、エネルギー・低炭素化、航空機の4分野を重点支援分野と位置付け支援（これまで県内企業の優れた取り組みを228件支援）。

<研究開発等支援>

可能性調査 (①)

※今回の採択式対象外

実用化可能性調査
や市場調査等の事
業化可能性調査に
対する支援等

補助額：250万円以内
※条件あり
(定額補助)
期 間：9ヶ月程度

新技術・新製品研究開発支援 (②、③)

集中支援分野 (4分野) の研究開発に対する支援 (②)

補助額：2,000万円以内 (2/3補助) 期間：最大1年間

炭素繊維

航空機

エネルギー・
低炭素化

ライフサイエンス

集中支援分野以外の研究開発に対する支援 (③)

補助額：2,000万円以内 (2/3補助) 期間：最大3年間

事業化促進支援 (④)

事業化に必要な製品の
実証・評価等に対する支援

補助額：3,000万円以内
(2/3補助)

期 間：最大2年度

※ただし、各年度における事業期間は、
原則、交付決定日から毎年2月末まで。

事業化

<設備導入支援>

製造工程を省力化する設備導入等支援 (⑤)

自動化のための生産設備の導入や、AI・IoTを活用した設備の導入を支援

補助額：600万円以内 (1/2補助) 期間：最大1年間

今回の採択式の対象：次世代産業創造ファンド事業「②～⑤」、AI・IoTを活用した業務効率化・省力化支援事業